

繁藤月報

〒789-0583

高知県香美市土佐山田町平山 1748

天理教繁藤大教会

TEL 0887-57-9207 / FAX 0887-57-9246



たちばな会おぢば帰り団参
ありがとうございました!

去る6月29日、たちばな会おぢば帰り団参を大勢の帰参者とともに、結構に勤めさせていただきました。本部の礼拝場が、たちばな会ではほとんど埋まるという、本当にありがたい姿をお見せいただきました。他にも28日の前夜祭、29日の回廊ひのきしん、吉川孝之先生のご講話、弦楽演奏、すべて喜びいっぱい、素晴らしいひとときでした。何よりこの旬に、繁藤につながる皆様とともに、御存命の教祖に御礼申し上げ、おぢばの理を頂戴できたことはこの上ない喜びでありました。この団参の勢いそのままに、年祭までの残り七ヶ月、共に勇んでつとめさせていただきますでしょう!

選挙と天の理

シリーズ「かしまの・かりもの理」を深く掘る

vol.15

◆なぜか人が離れていく

会長さん、いよいよ政治の話までし始めたわ・・・。

タイトルを見て心配されるかもしれないが、ちゃんとお道の話をするので、安心して読んでもらいたい。そして、今回も「かしまの・かりもの」の教えをベースに思案を深めていこうと思う。

最近、ある方と関わる中である違和感を覚えたことがあった。その方はとても活力があり、とても真面目で頑張り屋さん。何事も真剣に活動をされていて、尊敬できる人だ。しかし残念なことに、なぜか周りの人の心が、その方から離れていく。

「なんで、こんなに頑張ってるのに報われないのだろう」

不思議に思い、その方の言動など表面的なことだけでなく、いわば心の根っこの部分に目を向けてみた。そこに内在していたのは、強烈なコンプレックスであった。おそらく幼少期の頃からのもので、本人も気づいていないかもしれない。私が感じた違和感はその方の腹の底、つまり心の根源にあったのだ。

コンプレックスだけに限らず、こういうことは珍しいことではない。自分こそ気づかないものの、そういう心の根源を周りの人は敏感に感じ取ってしまうものだ。

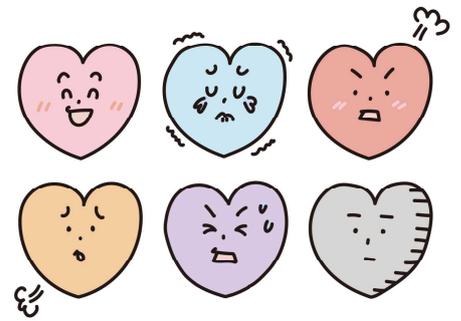
◆世の中に渦巻くマイナスのエネルギー

よく心はエネルギーに例えられる。心はコロコロ変わるから「コ

「コロ」であるとも言われるが、そのエネルギーは時と場合によって、プラスにもマイナスにも針が振れる。

上機嫌な時は、もちろん何もいうことはない。しかし一旦、心の針がマイナスに振れたら、コントロールできなくなる。何気ない一言にひどく落ち込んでしまったり、イライラがどうしても抑えられないこともあるだろう。

怒り、憎しみ、恨み、恐れ、不満、固執、
執着、許せない心、強欲、嗜癖【※1】、
利己心、他責、ネガティブ、劣等感・・・



一晩寝たら忘れるくらいならいいが、そのエネルギーはふつふつと増長し、心の奥深くに根付いてしまうことがある。マイナスのエネルギーは、時に大きな原動力になるが、必ず反動があるものだ。周りの人に悪影響を及ぼしたり、強すぎるマイナスのエネルギーによって、自分の身や心が蝕まれることだってあるだろう。

最近以前に増して、マイナスのエネルギーが世情に渦巻いている気がしているのは、私だけではないだろう。先月の巻頭言で令和の米騒動にふれたが、他にも物価高騰や税金問題、外国人問題や国家間のいさかい、痛ましい事件などのニュースを毎日見聞きする。

由々しき問題や現状に目を背けてはならないが、マイナスのエネルギーに巻き込まれてはいけないということは、誰もが頭ではわかっているだろう。

怒りや不安を煽り、他人を陥れ、非難や攻撃ばかりする。我さえ良くば、今さえ良くばと当たり前のように嘘をつく。そういった、マイ

ナスのエネルギーから生まれるのは、対立や分断、悲しみや苦しきばかりであるからだ。

いくら物質的に豊かになり、科学技術や医療が発達しようとも、人間の心が神様の思召に添ったカタチで成長していかなければ、世界が陽気ぐらしの向かっていくことはない。

【※1】嗜癖（アディクション）

ある特定の物質や行動、人間関係が本人・周囲の人々に、都合の悪い事態を引き起こされているのに、その習慣にハマってしまいやめられない状態をいう。依存症。

◆「かしの・かりもの」を心の土台に

お道では、この身体は神様がお貸しくださる「かりもの」であり、心だけが我が物であると教えられる。

心は自分のもの・・・しかし自由に、上手にコントロールできるものかといえば、先述の通り、そんな簡単なものではない。むしろコントロールできないことの部分の方が多い気さえしてくる。だからこそ、対処療法的【※2】に、うわべだけをどうこうではなく、心の根っここの本質の部分に向き合う必要があるのかもしれない。

「かしの・かりもの」の教えは「教えの台」ともいわれる。さらに、この教えが心に治まらなければ、何も分らないとまでいわれる。言い換えれば、その教えは我々人間が腹に治めるべき、心の土台、根源、出発点とも言い換えられるのではないだろうか。

喜び、満足、感謝、安心、優しさ、素直な心。

利他的で、自立していて、自由で、ポジティブで、柔軟で、広く、温かく、低い、澄んだ・・・心。

「かしの・かりもの」の教えが、一人ひとりの心の土台に治まれば、そうしたプラスのエネルギーが自然と湧き上がってくるはずだ。心の根源にある自分のエネルギーはどんなものか、そつと自分の胸に手を当てて、一度考えてみてはどうだろうか。

【※2】 対処療法

病気の原因そのものではなく、症状を和らげる治療法のこと。

◆ 遠回りでも、天の理に適う心を

まともに入る前に、お詫びを申し上げないといけない。

タイトルに「選挙」という単語をいれたが、旬の話題にあやかっただけで、ただ関心を寄せるためにつけたものである。特定の政党や候補者をここで挙げるつもりはないし、私の主義主張を語るつもりもない。まあ強いていえば、できれば選挙にはいこうというくらいだ。



しかし、このたび取り上げたテーマは、全くかけ離れていることではない。政治や国家だけでなく、小さい単位での家庭や友人、自分の心にいたるまで、天の理は普遍的【※3】な原理原則である。

満足は心の理、優しき者は日々満足。満足は小さいものでも、世上大いなる理に成る。これより大いなる理は無い。満足は広く通り、不足はあらゆる縮める、こらら狭む。時によれば取れて退く。満足というものは、あらゆる喜び、こららでも喜び。喜びは天の理に通う。通うから盛ん。

(おきしづ 明治三十三年七月十四日)

神様は、我々の心を見抜き見通されている。表面上で取り繕っていることではなく、神様が受け取られるものは、心の根源が天の理に適うものであるかどうかなのだ。

このたび、時事問題を引き合いに出しただけに、もしかしたら綺麗事で理想論だと思われる方もいるかもしれない。それでも他者の言動や、マイナスのエネルギーばかりに惑わされてはならないと私はいいたい。遠回りだったとしても、本当に向き合わなければならぬのは自分の心であり、神様の思召であるからだ。

そして、その神様の思召の根幹こそ、「かしの・かりもの」の教えであり、そこから湧き上がる一人ひとりの心が起点となつて、陽気ぐらしの世界が広がっていく。これこそ我々お道のようぼくが、周りの人々へ実直に伝えていかなければならないことである。

選挙が近づき様々な感情が渦巻く今の世相にこそ、皆様とともに一旦心を静め、腰を据えて、天の理に適う心とは何かに向き合っていきたい。

【※3】 普遍的

時代や場所を超えて、変わらずにすべてのものに当てはまる性質や価値観

立教一八八八年七月一日

天理教繁藤大教会長

坂本輝男

【主教百八十八年 六月 祭文】

これの繁藤大教会の神床にお鎮まり下さいます親神天理王
 命の御前に天理教繁藤大教会長坂本輝男慎んで申し上げ
 ます。
 親神様には、「このよふをはぢめだしたるやしきなりにんげ
 んは、しめものをやなり」と、教祖を通して人類の故郷た
 る親里ぢばをお明かし下され人間世界をお創り下された
 元のをや、実のをや、そして本真実の教えをお啓き下さいま
 した。爾来、尽きせぬ親心と果てしなき御守護のまにまに、
 時に臨み、旬に応じて、お仕込み下され、只管に子供の成人
 をお導き下さいます御厚恩の程は、誠に勿体なく有難い限
 りで御座います。私共は温かき親心にお凭れし、誠を尽く
 して日々の御用を懸命に勤めさせて頂いて居りますが、その
 中にも今日の吉き日は、御教えの元一日の理を受けて、これ
 の教会に御許しいただいております月々の御祭日に当たり
 ますので、只今からおつとめ奉仕者一同、ともに朗らかにお
 うたを唱和し、日頃賜る厚き御恵みに御礼申し上げ、尚
 も変わらぬ御守護にお縊りする状をも御覧下さいまして、
 親神様にもお勇み下さいますよう願ひ申し上げます。
 私共教会長をはじめ、ようぼく一同は年祭活動仕上げの
 年も残す所半年となり、改めて教祖の道具衆として使命
 を自覚しお使い頂く喜び心のままに、ひながた通りたすけ
 一条の道を歩ませて頂く所存で御座います。加えて今月二
 十九日のたちばな会おぢばがえり団参まで残り一週間と
 なった今、一人でも多くの人を元のぢばに連れ帰り、いよいよ
 よ心勇んで共々に成人の道を歩む丹精を精一杯致す決心
 で御座います。
 至らぬ私共の歩みでは御座いますが、この上共にをやのお力
 を賜り、お明かし下されたこの世の本真実をしつかり世界へ
 伝えて「心通り皆世界に映してある」とお聞かせ頂く理を
 思案してお見せ頂くことに反省を深めつつ神一条に向かつて
 努め励む我々の姿をお受取り下さいますして、一日も早く世
 界一列皆兄弟、神人、和樂の陽気づくめの世の状へと立て替わ
 りますようお導きの程を、一同と共に慎んでお願い申し上
 げます。

《繁藤大教会立教百八十八年六月 祭典役割》

祭主	指図方	属者	属者	賛者	賛者	男		女		地方	笛	チャンポン	拍子木	太鼓	すりがね	小鼓	琴	三味線	胡弓	神殿講話																		
						座りづとめ	大教会長	前大教会長	為田紀久男												大教会長夫人	前会長夫人	黒石伸子	宮田孝道	村上英士	空閑一将	為田基紀	藤田憲明	田村辰久	佐藤成彦	佐藤栄治	坂本久徳	村上美栄子	佐藤順子	藤田洋美	田村辰久		
大教会長	宮田孝道	為田基紀	安部道郎	空閑一教	田村省悟	座りづとめ	大教会長	前大教会長	為田紀久男	大教会長夫人	前会長夫人	黒石伸子	宮田孝道	村上英士	空閑一将	為田基紀	藤田憲明	田村辰久	佐藤成彦	佐藤栄治	坂本久徳	村上美栄子	佐藤順子	藤田洋美	田村辰久													
田村聡佐	伊藤正福	佐々木恵	田村省悟	村上由高	空閑慶吾	てをどり前半	安部道郎	田村聡佐	伊藤正福	宮田まゆみ	田村睦美	武市まち子	田村久徳	佐藤節幸	前田豊	空閑慶吾	川田節夫	藤田一憲	空閑一教	高橋道則	佐々木恵	為田賢子	坂本喜子	佐藤文代														
						てをどり後半	田村省悟	黒河明大	立花孝一	佐藤明子	空閑真理代	阪本喜代子	村上由高	坂井博文	秋月英希	藤田誠	村上修	宮田教一	土居道久	佐藤孝彦	藤田善典	黒石美佐	空閑都	田村育与														

【神殿講話】

(7月) 布教推進講習会

谷澤 茂男 先生

(本理世部属 本芝房分教会長)

【しげとうtime おかえり講話】

(7月) 宮田 まゆみ

【教会長神殿当番】

(7月) 桂 濱・細島

(8月) 日之富・高杉

【詰所教養掛】

(9月) 佐藤 成彦

女性 宮田 まゆみ

(10月) 前半 安部 道郎

後半 藤田 誠

【詰所事務当番】

(7月) 白石 明光

(8月) 高橋 道則

【ひのきしん】

○本部食堂ひのきしん

10月1日～15日(本山)

○婦人会詰所ひのきしん

7月25日～26日(高杉2名)

【五季づとめ】

今月は五季づとめの月です。左記の通り上級の教会を通してお納め下さいますようお願い申し上げます。

記

一、五季づとめ 三、〇〇〇円

【たちばな会おぢば帰り団参】

◇ たちばな会全体の帰参者総数5906名

◇ 繁藤大教会の帰参者総数596名

初席11名、中席15名、おさづけ拝戴1名

吉川先生の講演と、弦楽演奏の動画は繁藤公式ラインから視聴可能です。

【布教部】

今月の大教会祭典講話に併せまして、「布教推進講習会」を開催させて頂きます。どなたでも受講頂けます。教会長様はじめ大勢の方にご受講頂けますよう、よろしくお願いいたします。

又、9月に行われます、全教会布教推進月間に向けまして、実働計画書を各教会には同封しております。ご記入頂き今月20日迄に大教会まで、ご提出頂きますようお願いいたします。ファックスでも結構です。

【婦人会】

○みちのだいおはなし会

日時 8月26日(火) 午後1時～2時

場所 第二食堂

テーマ 「明日の私たちへ」

周海分教会長 福江弘一先生

※託児はありません

○みちのだい育み塾(繁藤支部)

日時 9月20日(土) 午後2時～

場所 繁藤大教会

対象 高校生～50代までの婦人会員

参加御供 300円

※たくさんの方のご参加をお待ちしております

【少年会】

○こどもおぢばがえり申込み方法について

立教188年こどもおぢばがえりが、7月27日～8月3日まで開催されます。

7月1日からこどもおぢばがえりオフィシャルサイトで事前申し込みが始っております。

申し込みが出来るのは、帰参予定人数、カレー食申し込みとなります。その際に、各教会へお配りしている「申し込みキー」が必要になりますので、手元に準備の上申し込みをさせていただきます。不明な教会は団長までお問い合わせ下さい。

また、こどもおちばがえりの帰参報告書を同封（教会分）しますので、7月20日までに詰所へご提出をお願いします。他の詰所を利用される教会も帰参報告をお願いします。

【おさづけの理拝戴者（5月）】

大教会 佐藤 愛梨

【教人登録（5月）】

紋湧 中尾 恵

【修養科修了生（1006期）】



紋別 渡辺 朝之



高杉 黒石 佐和

【おをびや】 1 件

仕切り月（6月）

- 3日 百春分教会
- 8日 本訓分教会
- 8日 實彌原分教会
- 14日 垣生分教会
- 15日 高杉分教会



實彌原 分教会



本 訓 分教会（創立百周年記念祭）



高杉 分教会



百春 分教会

教祖140年祭 三年千日の活動方針

明日に希望を、 今日を陽気に

～ひながたを心に、プラスワンの誠真実を～

実践目標

教会に人をお連れし、たすかる道を伝えよう
 誠の理を、日々に働かそう
 おさづけの取り次ぎ、チラシ配りの推奨
 天理カードの登録推奨（目標 10,000人）

教えに親しみ、ひながたを心の頼りに明るく歩もう
 信者の葉を毎日拝読する
 ご守護に気づき、身近な人に信仰を伝えよう
 お道と社会に貢献できるようぼくを育てよう

ふしから芽が出るご守護をいただこう
 心を定め、日々の理づくり・徳積みに励もう
 「声は肥」旬を外さないよう+1の声かけを
 月次祭を賑やかに勤めよう（仕切り月の実施）



繁藤公式LINEで講話やブログなどを配信しています。
ぜひご登録ならびにご紹介をお願いします。



天理教繁藤大教会
SHIGETO